

# ふじの山岳会 ニュース

## 2018年8月号

### ◆8月定例会報告◆

藤野山岳会の例会は8月9日(木)19:00~20:30 藤野開発事務所にて開催されました。

出席者は5名でした。(遠藤勝・小池栄・佐藤忠・杉本憲・真屋幸)

※8月の例会のお知らせ 9月13日(木) 於:藤野開発 PM7:00~8:30

### ▲▲▲藤野山岳会山行報告▲▲▲

7月18日(水)~19日(木) 一泊二日 雲取山(奥多摩)

参加者:小池栄・小池千・山崎信 計3名

7月30日(月)~8月2日(木) 三泊四日 早池峰山・岩手山・栗駒山(岩手県)

参加者:小池栄・小池千 計2名

### ▲▲▲藤野山岳会これからの山行等予定▲▲▲

8月22日(水)~23日(木) 一泊二日 鳳凰三山(山梨県)

9月13日(木) 日向山(山梨県北杜市 7時30分出発)

10月18日(木) 武甲山(埼玉県奥武蔵)

11月15日(木) 棒ノ折山(東京・埼玉奥武蔵)

12月6日(木) 伊豆ヶ岳(埼玉県奥武蔵)

1月中 高尾~草戸山~高尾(周遊) 2月中 不老山(上野原市)

3月中 御坂黒岳(河口湖)

※以上の山行等に参加希望の方は「小池」までご連絡ください!!

### ◆事業計画◆

\*\*各事業に多くの参加をお願いします\*\*

#### ◆小淵峠へ道標を設置は秋に予定変更致します。参加者募集

兼ねて予定の小淵関野より小淵峠への道標を設置します。会員の皆様、設置にご協力ください。

#### ◆11月24日(土)にNESチャンピオンシップ開催日時決定

今年も4大会である東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース/道志村トレイルレース/八重山トレイルレース/北丹沢12時間山岳耐久レースの実行委員会により、芸術の家にて開催いたします。

#### ◆上野原秋山トレイルレースは次年度に開催予定 日程調整中

例年12月に開催していた上野原秋山トレイルレースは、会場である秋山温泉の施設指定管理者が変更になった関係で計画が遅れ、次年度に持ち越しとなりました。開催は春か秋を予定しています。今年度の大会は陣馬山トレイルレースと八王子八峰トレイル(協力)のみとなります。

#### ◆東丹沢宮ヶ瀬トレイルはコースを林道より稜線コースに変更

平成31年度東丹沢宮ヶ瀬トレイルレースはコースを大平林道コースより変更し、焼山・柏原ノ頭稜線コースへ変更します。ランナーの皆様、より自然を感じてもらえる大会づくりに努めます。

#### ◆トレラン保険の充実を図る/全大会にて募集実施予定

安価な保険料でトレイルランナーに安心安全をお届けできるトレラン保険の周知に努めます。

### ◆事業報告◆

<藤野山岳会・トレイル関係>

#### ●8月11日(祝)神奈川県山岳連盟主催「山の日」大山(伊勢原市)

参加者:杉本・遠藤勝・小林・和泉・佐藤忠・春田・山崎信



山の日、「山に親しむ機会を得て、山に感謝する」日です。山の日、大山(丹沢大山国定公園)に登り、その自然に触れてみよう。

大山阿夫利神社下社にて、山の日を祝う式典とイベントを行います。

開催日	2018年8月11日
会場	大山阿夫利神社下社
主催	神奈川県山岳連盟
後援・協力	伊勢原市、 一社)伊勢原市観光協会 公社)日本山岳・スポーツライミング協会
内容	10:00~10:30 スタッフなどによる安全祈願 10:30~11:00 祝賀式典 11:00~12:00 二胡奏者「芳晴」さんによる山のミニライブ 記念品配布、記念写真等



「芳晴」さんプロフィール



歌・語り・二胡を操るシンガーソングライター。「癒しの声・癒しの音」を神楽と称し、聴く人の心と体を癒す「芳晴ワールド」は、幅広い年代の支持を受けている。神奈川県藤野の山中に住み、毎朝どこかで山に向かっている。2015年アルバム「世界のまんなかで」、2016年アルバム「Home」をリリース。

詳しくは神奈川県山岳連盟 HP (<http://www.kanagawa-gakuren.gr.jp/>) をご覧ください。

問い合わせ・参加申し込み

神奈川県山岳連盟「かながわの山の日 in 大山 2018」実行委員会事務局(松原) mail: matsumobi@nifty.com  
NPO 北丹沢山岳センター TEL:042-687-4011 FAX:042-687-3980 mail:kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp  
申込み締切 7月14日(土)

## BICYCLEDIARY

【愛車自慢SNAP】

### BC掲載後、サイクリスト増加でステッカー作成!

昨年のBC10月号で和田峠を紹介していただいてありがとうございました。紹介後、和田峠を走りに来る人が増えました! これを受けてもっと和田峠を盛り上げようと地元のローディーみなで、八王子側から峠のお茶屋までのコースを再度調査&計測。標高や最大勾配を入れたマニアックな和田峠ステッカーをデザインしました。峠のお茶屋さんに寄付していただき、現在販売中です。これからも多くの人に和田峠を知ってもらい、喜んでもらえるとうれしいです。



東京都 古澤正一さん



佐野川在住 小池さん

### 山を愛して半世紀

「貴重な観光資源を後世に」



山への熱い思いを話す小池さん

8月11日は山の日。近年、登山客で賑わいをみせる陣馬山の麓に住む小池栄一(69)さんは、月々1回ほどは近場から海外まで、山登りに出向く根っからの登山家。併せて、陣馬山に頂上3軒ある茶屋の一つ「伊豆茶屋」を営み、地元山岳会の会長としても、年々増える登山客の安全を守っている。

陣馬山の麓に生まれ、母親が山岳家である「伊豆茶屋」を営んでいる。20代もあり、子どものころから山が身近な存在であった小池さん。妻の千恵子さんと一緒に、時間を許せば山を登る登山家としての一面を持ち、地元、北丹沢山岳会の自然保護にも積極的に関わっている。現在は、陣馬山自然保護会、環境自然保護会、山々の保全として、地元の山々の保全にも積極的に関わっている。陣馬山には、ハイカーやマニアックな登山客も多く自生している点も特徴的。さらには、2003年に陣馬山山岳会、NPO北丹沢山岳センター、藤野観光研

会らと協力して、名山選定委員会組織。近隣の山々から「陣馬山」を選び、15名山のマップをガイドブックなどを制作。15名山全てを制覇したハイカーには記念バッジを贈呈するなど、観光PRにも積極的に取り組む活動も行う。「陣馬山」頂上300度、ハノラマ、どの方面の景色も素晴らしい。貴重な観光資源です。この財産をありのままの姿で後世に残していくのが我々の使命です」と話す。

「登山を終えた時の達成感が何にも代えがたい。気持ちの良いものです」と話す小池さん。登山家としての本格的な出発となったのは、知人の紹介で17歳の時に陣馬山山岳会に入会してから。当時、20代半ばの青年約50人が同山岳会に在籍し、その先輩たちに登山の初歩を教わった。さらに、20代半ばで、1997年まで県が運営していた丹沢登山訓練所に入所。そこで、登山に必要な知識と経験を積みこんでいった。以後、富士山登山1回をはじめ、近場から遠方まで

日本の有名人山々ほとんど制覇。定年後は、海外にも目を向け、アメリカのキリマンジャロやパナマのボカボカ山などの世界的に有名な山にも挑戦し、70歳を前にした今も、月に1回は自ら登山に出く。ほか、30代以降に登山の指図を書く活動もしている。山は基本、妻と一緒に行きます。最近が高齢者の事故が目立ちます。山は想像以上に危険な部分があるのだから、準備をしっかりとすることが必要です」と話す。

登山客の間で知名度が上がり、年々ハイカーを増やす北丹沢山岳会。その代表する山である陣馬山も、小池さんら地元の人を愛する山岳会が努力によって支えられている。

